



子どもタイムズ

2023
年度

2023.06.01 令和5年特集号

発行:多可町教育委員会 〒679-1192 多可町中区中村町123
TEL:(0795)32-2385 E-mail:kodomo@town.taka.lg.jp



子育てふれあいセンター 親子ハイキング

教育 重点施策

- いのちと人権を守る
教育の充実
- 確かな学力の育成
- New
- 健康の保持増進と
体力の向上
- ふるさと教育の推進
- 子育て支援の充実
- 統合中学校の開校に
向けた取組の推進

◇令和5年度 教育方針について◇

人生100年時代の到来を踏まえ、誰一人取り残さないというSDGsの実現が叫ばれています。また、社会全体のデジタル技術を用いた変革の実現に向け、学校という枠を超えた学びや個の能力を最大限に引き出す学びを実現する必要があります。さらに、効果的な教育行政を推進するに当たっては、根拠に基づいた施策立案が求められております。施策の推進に当たっては、学校、家庭、地域、大学、関係機関等と連携して教育力を結集し、持続可能な社会の創り手である子どもたちの育成を効果的に進めながら多可町の教育の振興・充実に努めて参ります。そこで、教育行政を進めるに当たり引き続き3つのことを大切にします。

1つ目は、地域とともにある組織づくりを大切にします。多可町では年々少子高齢化が進み、その影響は町全体に及んでいます。学校園や関係施設などもその例外ではありません。現在、小学校で進めているコミュニティ・スクールの取組は、学校と地域の皆さんがともに力を合わせ、教育や地域の課題を解決していくために有効な手立ての一つであると考えています。

2つ目は、子どもたちや教職員、保護者、利用者の声を大切にします。皆さんの願いを適切にくみ取り、グローバルな視点で持続可能な教育行政を行って参ります。4月からは「こども基本法」が施行されました。この法律では、当事者である子どもの意見を聞くことが求められています。そのためにはアンケート調査など、子どもたちをはじめ広く現場の声を集める仕組みを大切にします。そして、その収集したデータや分析結果を取組の改善に確実につなげて参ります。

3つ目は、一人ひとりの職員の能力を最大限に活かすことを大切にします。「教育は人なり」と言われます。教職員が子どもと向き合う時間を確保するためにも、勤務時間の適正化に取り組むとともに、風通しの良い職場をつくり、個人の能力向上に向けた研修を適切に取り入れながら個人と組織の持つ良さを発揮できるよう努めて参ります。

さて、昨年度「第2次多可町学校規模適正化基本計画」を定め、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さん、地域の皆さん、学校関係者の皆さんの教育にかけける願いを形にしました。子どもたちが多可町で学び、育ったことに誇りを持ち、保護者や地域の皆さんが多可町で子育てして良かった、多可町に住んで良かったと実感していただけるよう学校園、家庭、地域の皆さんと一丸となって進めて参ります。

令和5年

多可町教育長 越川昌信

生きる権利



多可町こども条例（仮称）の制定

国における「こども基本法」の趣旨に沿って、多可町においても一人でも多くの人が子どもの権利について理解し、子どもをまんなかに据えて、子どもの最善の利益が優先される町を目指して制定します。

守られる権利



育つ権利



参加する権利



子育てふれあいセンター



- 気軽に子育て相談ができる場を提供します。
- 子育てコンシェルジュ（子育て支援専門員）と「アスパルきっず」保健師との連携により、子育て相談体制の充実を図ります。

- 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実につなげます。

「マタニティひろば」



- 親子ふれあい活動や学習会などをとおして、交流や体験、学びの場を提供します。

「赤ちゃんひろば」



「ベビーマッサージ」



「学習会」



- 地域の方々との交流をとおして、地域とのつながりを大切にします。



New



子育てコンシェルジュサポーター事業 「にこにこサポート」

- 子育てコンシェルジュサポーターを創設し、移住転入の子育て家庭等に役立つ情報の提供をします。

豊かな心

心の健康教育

- 子どもたちが日常生活におけるストレスや心身への影響について自分でチェックし、対処方法などを学びます。



ふるさと教育

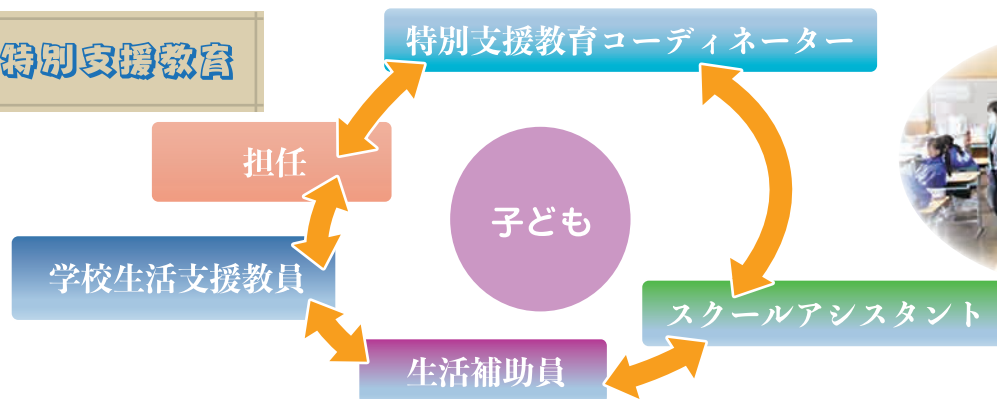
- 「山田錦」「杉原紙」「敬老の日」の発祥のまちとして、改訂版ふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」を活かし、多可町の自然や産業、伝統、歴史、文化等について学習することにより、子どもたちの多可町への愛着と誇りを育む「ふるさと教育カリキュラム」を作成します。

あったかあいさつ運動

- 学校・地域・PTA等と連携しながら、優れた取組を行っている個人・グループ等を表彰します。



特別支援教育



- 小中学校では、県立特別支援教育センターや県立特別支援学校のコーディネーター等の助言を受けながら、校内の特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援を要する子どもの実態把握や指導・支援内容の協議、ニーズに応じた合理的な配慮の提供等について、組織的に取り組みます。
- 就学前の子どもには、臨床心理士・作業療法士による園巡回相談などを実施し、特別な支援を要する子どもを早期に発見し、適切な支援につなげます。

New

ネットモラル教材の導入

- 1人1台コンピュータ等の使用モラルの向上を図るとともに、教員の指導力向上を図ります。



子育て家庭や学校園を支援

子育て・学校園サポートチーム

生徒指導チーム

子ども家庭支援チーム

発達支援チーム

- 「子ども家庭総合支援拠点」での、児童虐待とヤングケアラーの対応を強化します。

確かな学力

学習支援員の配置

・「めあて」や「ふりかえり」を大切に授業スタンダードを町内小中学校で共有し、子どもたちが主体的に学ぶ授業作りを進めます。

・「第2期多可町学力向上推進3ヵ年計画」や全国学力・学習状況調査の結果分析に基づいた各校の学力向上プランによる指導の充実を図ります。

・学習内容が難しくなり、つまづきやすい小学3年生を対象に、全小中学校に学習支援員を町独自に配置します。

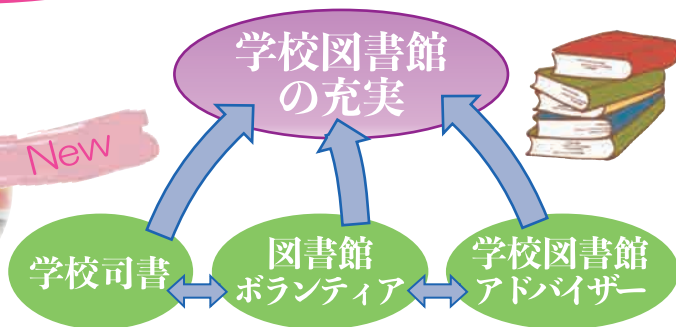


学力向上

・放課後や長期休業中に教員OBや地域人材の児童による補充学習やタブレットドリルなどを活用した個別最適化された学習の充実を図ります。

わかる授業の充実

多可町かんばんタイム (補充学習)



・学校司書の新たな配置や学校図書館アドバイザーの派遣により、学校図書館の充実を図ります。また、「第3次多可町子ども読書活動推進計画」に基づき、本に親しむ子どもを育てます。



ノーメディアデー



・家庭と連携し、テレビやゲーム、スマホ等からくる睡眠不足など生活習慣の改善を図るとともに、読書やスポーツ、家族との会話を楽しむ「ノーメディアデー」の取組を進めます。

就学前教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。

- ・認定こども園・小学校が、相互の教育内容や保育に関する理解を深めます。
- ・認定こども園と小学校との架け橋期のカリキュラムの検討・開発を進めます。

統合中学校の開校に向け学校間連携の充実を図ります。

- ・学校行事や授業等で小小連携や中中連携に取り組み、町内の子どもたちの顔見知りづくりを進めます。また、小中連携により小学校から中学校にスムーズに接続できる環境を整えます。

幼小連携
小小連携
中中連携
小中連携



多可町立統合中学校
開校準備委員会

専門
部
会

総務部会

通学部会

PTA部会

教育・事務部会

- ・令和8年の新しい中学校の開校に向けて、協議を進めていきます。子どもや保護者、地域と共に、町の誇りとなる統合中学校を目指します。



健やかな体

体力向上

●たかチャレンジ

- ・コロナ禍においても楽しみながら継続して体力向上を図る、縄跳び運動を中心とした取組を進めます。



食育・規則正しい生活リズム

●早ね早おき朝ごはん

- ・食育指導を積極的に実施するとともに家庭や地域と連携し、子どもたちに食に関する正しい知識と朝食の摂取など望ましい食習慣を身に付けます。
- ・学校保健委員会では各校の健康課題を明らかにするとともに、その取組を検証し、次年度の健やかな体の育成に向けた計画に活かします。
- ・栄養バランスのとれた学校給食を提供し、年2回の「多可町っ子いきいき献立」で、地元食材の魅力を子どもたちに伝えます。



子ども向けのイベント

こども未来課

- ホリデイチャレンジ
- 出前ひろば
- 伝統文化教室
 - ・カブキッズたか
- たかっこフェスタ

児童館

- わくわく教室
 - ・なつチャレ
- 出前講座
- 児童館教室
 - 書道・かきかた・工作
 - 囲碁・将棋・茶道

多可町子ども向けイベントは、Web版こどもカレンダーで確認できます。



- おはなし会
- 図書館まつり
- ビブリンピック
- 手作り絵本講座
- かるた会

図書館



- まがたまづくり
- 杉原紙でつくるランプシェード
- 素焼きでつくる貯金箱
- 播州織でつくるコースター
- 伝統和菓子づくり
- 発掘体験
- その他毎週土日に開催しています

那珂ふれあい館



令和5年度 小・中学校児童生徒クラス数<R5.5.1 現在>

()数字はクラス数、合計欄の()内の〃は特別支援学級数

学校名	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合 計
中町南小学校	42(2)	35(1)	37(1)	41(2)	35(1)	48(2)	238(9+3)
中町北小学校	32(1)	12(1)	24(1)	27(1)	27(1)	25(1)	147(6+2)
松井小学校	18(1)	19(1)	17(1)	21(1)	31(1)	25(1)	131(6+4)
杉原谷小学校	17(1)	20(1)	14(1)	20(1)	20(1)	27(1)	118(6+2)
八千代小学校	22(1)	25(1)	33(1)	29(1)	31(1)	40(2)	180(7+2)
合 計	131(6)	111(5)	126(5)	138(6)	144(5)	165(7)	814(34+13)
学校名	1学年	2学年	3学年	合 計			
中町中学校	71(2)	65(2)	72(2)	208(6+2)			
加美中学校	33(1)	52(2)	39(2)	124(5+2)			
八千代中学校	29(1)	45(2)	40(2)	114(5+3)			
合 計	133(4)	162(6)	151(6)	446(16+7)			



令和3年3月
第2次多可町教育ビジョン
(多可町教育振興計画)



令和4年9月
第2次多可町学校規模適正化
基本計画



令和5年3月
令和5年度多可町教育方針及び
主要施策



ひとりで悩まないで、まず相談

多可っ子悩み相談	いじめ・不登校・友人関係・進路など様々な悩み相談	0795-32-3423	8:30~17:15 月~金 祝日・12/28~ 1/3を除く
家庭児童相談	育児、子育ての不安・子どもの養育環境・家庭内の様々な問題や虐待の相談	0795-32-2385	
ひょうごっ子悩み相談	子どもSOSダイヤル	0120-0-78310 (通話料無料)	365日 24時間
児童虐待相談	児童相談所全国共通ダイヤル	189	365日 24時間
ひきこもり電話相談 (兵庫県ひきこもり 総合支援センター)	ひきこもりについての相談	078-262-8050	9:00~17:00 月~金 祝日・12/28~ 1/3を除く